

【多様な性について】

◆セクシュアリティって？

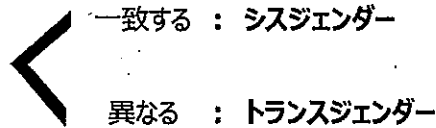
ReBit では、セクシュアリティを主に以下の 4 つの要素で説明している。

自認する性	自分で自身の性別をどのように認識しているかを表す。
からだの性	外性器・内性器・性腺・性染色体の状態や、性ホルモンのレベルなどから定められる。
好きになる性	恋愛や性愛の対象となる性を表す。
表現する性	服装や行動、振る舞いに“どのような性らしさが含まれるか”との社会的構築物を表す。

自認する性 × からだの性 × 好きになる性 × 表現する性
 = セクシュアリティ (性のあり方)

◆自認する性とからだの性の関係を表す状態の一部

自認する性と生まれたときの
からだの性をもとに割り当てられた性が



自認する性が男性、からだの性が女性 ⇒ トランスジェンダー男性

自認する性が女性、からだの性が男性 ⇒ トランスジェンダー女性

からだの性がどうであるかにかかわらず、自認する性が男女のどちらかに定まらない ⇒ X ジェンダー

◆好きを表す名前の一部

異性愛者 (ヘテロセクシュアル)	自認する性が男性で、女性を好きになる人。自認する性が女性で、男性を好きになる人。
女性同性愛者 (レズビアン)	自認する性が女性で、女性を好きになる人。
男性同性愛者 (ゲイ)	自認する性が男性で、男性を好きになる人。
両性愛者 (バイセクシュアル)	自認する性がどうであるかにかかわらず、男性も女性も好きになる人。
無性愛者 (アセクシュアル)	いかなる他者も恋愛や性愛の対象にならない人。

◆こんな言葉聞いたことありますか？

ホモ・オカマ・レズ・おなべ そっち系・おとこおんな	差別的な用語とされています。正式名称を使用してください。
性同一性障害	診断名です。トランスジェンダー≠性同一性障害です。
LGBT	レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーの頭文字を合わせた言葉です。 セクシュアルマイノリティの総称の一つとしてもつかわれる場合があります。

性はグラデーションで存在する。人の数だけ、性のあり方がある。

【みんなで考える必要がある理由】

セクシュアリティは性や恋愛の話だけでなく、進路・就職・パートナー・老後など、誰と生きるか、どう生きるかという人生設計に深く関わるアイデンティティの一部。

LGBTに関する正しい知識を得られる機会がないと…



生き方のお手本が見えづらい
笑いや侮蔑の対象にされている
嘘をつき続けなければいけない



将来への不安
自尊心の低下
人間関係の障壁

国内の LGBT の人口比率は約 5～8% (約 13 人～20 人に 1 人くらいいる可能性)

- LGBT 当事者の約 68%がいじめや暴力を受けたことがある。*1
- トランスジェンダー男性・トランスジェンダー女性の約 59%が自殺念慮を抱いたことがある。*2
約 28%が自傷・自殺未遂を経験したことがある。*2
- 今までにホモネタやオカマ・おとこおんな等の差別用語を見聞きしたことのある小学生…約 85% *3
- 学校教育の中で LGBT や多様な性に関して知る機会があった高校 1 年生…約 9% *3



LGBT の自殺念慮の第 1 ピークは中学～高校の第二次性徴期であるが、9 割以上の生徒に情報が行き渡っていない。
内閣府「自殺総合対策大綱」「子供・若者育成支援推進大綱」や文部科学省の通知でも性的マイノリティについて言及。

*1 いのちリスペクト。ホワイトリボン・キャンペーン 平成 25 年度東京都地域自殺対策緊急強化補助事業「LGBT の学校生活に関する実態調査 (2013)」
*2 中塚幹也 (2010) 「学校保健における性同一性障害：学校と医療の連携」『日本医事新報』4521：60-64
*3 ReBit 出張授業アンケート (2014)

【LGBT 困りごと事例集】

◆学校や日常の中で

- 戸籍の性別で分けられているもの…
トイレ、風呂、着替え、制服、健康診断、宿泊行事、
敬称 (さん/くん)、一人称、持ち物やプレゼントの色、名簿、席順
- 社会的な性別や異性愛前提で考えられているもの…
性教育、道徳、男らしさ/女らしさ、恋愛の話

一緒にするのがむずかしい場合でも、個別のものを使用させる、時間をずらすなど、個別の対応で解決できることも。

◆同性間での法的保障がないことによる

- 子がいたとして片方しか親権を持ってない。 ○緊急入院時の面会や、手術への同意が難しい。
- 遺産を相続できない。 ○共同名義でローンを組めない。
- 被扶養者になれず税控除を受けられない。 ○あらゆる「家族サービス」「カップル割」などが使えない。
- 外国籍の場合、在留権を持ってない。 ……など

◆働く上で

- 安全に働くことができない。
…差別やセクシュアルハラスメントを受けやすい。福利厚生がない。
- 人間関係構築が難しい。
…自己開示の困難が重なると次第に疎遠になり、孤立につながる。
- 自分らしく働けない。
…やりがいを感じられなかったり、ストレスを大きく受けたりしている。

職場においても LGBT が想定されていないことで、孤立やメンタルヘルスの悪化、働きづらさにつながる。

【今日からできること】

伝える	考える	変わる
<p>○話す 知人に当事者がいること、今日のこと、TVにLGBTの芸能人が出ているとき。</p> <p>○置く/貼る/身につける 書籍、DVD、フラッグ（旗）、ステッカー、レインボーグッズ。</p> <p>○動く ネット記事をSNSでシェアする。 イベントに参加する。 刊行物に情報を載せる。</p>	<p>○異性愛を前提としない 「彼女(彼氏)いるの?」ではなく、「パートナーいるの?」など。</p> <p>○男女を前提としない 「男なら家庭を持って一人前」「もっと女らしくしないと」など。</p> <p>○結婚や子育てをすることを前提としない 「まだ結婚しないの?」「そのうち親になるんだから」など。</p>	<p>○差別用語を使わない ホモ、オカマ、レズなど。</p> <p>○注意する 「自分の友達にもいるけど、そういうこと言われたら私が傷つくよ」 「自分の考えだけで、ほかの人を馬鹿にしてはいけませんよ」 (ホモネタがあったとき)「面白くないよ」</p>

*アライ（理解者・味方）であることを、逆カミングアウトしてください。

◆カミングアウトされたときの3ステップ

<p>①聴く 初めて人に話すという人も少なくありません。人がいない場所へ移動する、「話してくれてありがとう」を伝えるなど、安心して相談できる環境をつくる。</p>	<p>②知る どうして伝えてくれたのか聞いてください。その人が何に困っていて、何を求めているのか、どんな対応ならいいのか、対話の中で進めていく。</p>	<p>③つなげる 末尾の参考情報をご活用ください。だれでも匿名性を守りながらご利用ください。</p>
---	--	--

*「性同一性障害だからこの対応」「同性愛だからこの対応」というマニュアルはありません。

◆2つの“ナイ”

<p>①決めつけない 自分のセクシュアリティを決められるのは自分だけです。「思い過ごしじゃないの?」「いつか“治る”よ」「君は性同一性障害じゃないのか!？」など、否定したり、決定を促したりしないでください。</p>	<p>②広めない（共有しない） 「あなただったから話した」という場合は少なくありません。本人の同意なく、第三者に伝えることは避けてください。ほかに誰か話している人はいるか、確認してください。</p>
---	--

～チームでの取り組みが必要な場合～

- 自殺企図・自傷行為を止められないなど、**緊急性**がある場合。
- セクシュアリティを原因にした就職・復職が続くなど、本人の**将来や人生**に深く関わる場合。
- 制度・規則上、共有しないと**問題解決**に臨めない場合。

このような状況下で、他者への共有を拒まれた場合に大切なこと

- ① まず、「**どうして嫌なのか**」確認。
- ② 「あなたの状況をよくするために**力になりたい**と思っている」ことを示す。
- ③ **どのような問題の解決には、誰への共有が必要であるか**を伝える。

【参考情報】

◆相談窓口

- よりそいホットライン（24時間無料電話相談、4番が性別や同性愛に関する相談）0120-279-338
- NPO法人LGBTの家族と友人をつなぐ会・東京（LGBT当事者の家族・友人による会）090-9876-2423
- NPO法人SHIP「SHIPにじいるキャビン」（横浜市内にあるLGBTの若者のためのフリースペース）
- NPO法人ピアフレンズ（男の子が好きな男の子のための友達作りイベント）
- にじーず（池袋で月1回開催する10代～23歳くらいまでの友達作りイベント）

家庭教

保護者の皆様

2019年12月吉日

烏山北小学校PTA
会長 米戸 誠治

家庭教育学級委員会
委員長 櫻井 千尋

年間テーマ「育てよう心と身体自分らしく輝くために」

第3回 家庭教育学級ご報告

12月14日(土)第3回家庭教育学級では、認定特定非営利活動法人ReBitさんから2名の講師をお招きし、「多様な性ってなんだろう?—互いの違いを受け入れあえる社会を目指して—」を開催致しました。当日は約55名の方々にご参加いただきました。

■開催内容のご報告■

講義は「“ちがい”ってなんだろう?」という問いかけから始まりました。周囲と違うが故に自分がおかしいのではないかと悩んでしまう子がいたり、違いを知らないが故に無意識のうちに相手を傷つけてしまったり…そのようなことをなくしていきたい、という願いの元、まず多様な性について学びました。

講師の方の体験談などを通して、LGBTの子どもが自分らしく生きることの難しさや苦しみについて学び、どんなことを相談しても大丈夫だと思える環境づくりが、苦しみ悩んでいる子どもを救うことにつながるというお話を伺いました。

また、見えないだけでLGBT当事者が周囲にいるかもしれないという前提で、考え行動することの大切さを学びました。

~アンケートでは

色々お話を伺って、私自身の考えがとても変わりました。

カミングアウトされた時にどう対応したらよいかはわかって勉強になった。

…など様々なご意見をいただきました。

以上